

東工大V G 東京工業大学防災訓練 活動報告

1. 実施概要

実施日時：2016年 11月 9日 12:15～会場：東工大大岡山キャンパス

参加者：4名(東工大V G)

2. 活動内容

東日本大震災から5年が経過し、震災の悲惨な記憶が風化するとともに、一時期高まりを見せた防災意識も再び低くなっています。また、東工大の避難訓練においてはかねてより学生の参加率が低いことが指摘されています。東工大V Gの活動テーマの一つに防災があり、上に示す状況改善するために、避難訓練への参加の呼びかけや個別訓練の呼び込み、個別訓練の手伝いを行いました。

今年の防災訓練では、①煙体験ハウス、②起震車による地震体験、③非常食体験、④防災品備蓄展示、の4つの個別訓練にスタッフとして参加しました。今年は新たに防災品備蓄展示を行い、仮設トイレなどの防災グッズの展示と使い方の説明がなされました。今年の防災訓練は熊本地震から日が浅いこともあってか、煙体験ハウスでの個別訓練への参加者が

500名を超えるなど、積極的な参加がみられたと感じました。

3. 参加したメンバーの感想、反省点

- ・各個別訓練で「参加証」を配布し、それを非常食と交換するという形式をとっていたが、参加証と非常食を交換できることを知らない生徒が多かった。
- ・煙体験ハウスは参加者の回転が速く、参加証の使い方を説明するのが大変だった。
- ・交換所では「引換券」という表現が使われており、混乱している参加者がいた。
- ・防災備蓄品展示の終了時間が予定より大幅に早まっていた。

